

## 活動報告（坂本 麻衣子）

### 研究業績

#### 【学術論文】

1. Muroya M, Tabuchi Y, Kumagai Y, **Sakamoto M**, Tajima T. (2024) Factor Contributing to Well-Bing in Japanese Community-Dwelling Older Adults Who Experienced Spousal Bereavement. *Research in Gerontological Nursing*, 17(3), 121-130, 2024. doi: 10.3928/19404921-20240403-01.
2. **Sakamoto Pomeroy M**, Aoki Y. (2023). Enhancing Research Writing Skills in English: Navigating the Role of AI Applications in Academic Writing. *J. Med. Eng. Educ.*, 22(2/3), 72-74.
3. Mitsutake T, Nakazono H, Taniguchi T, Yoshizuka H, **Sakamoto M**. (2023). Effects of transcranial electrical stimulation of the right posterior parietal cortex on physical control responses [published online ahead of print, 2023 Nov 21]. *Neurosci Lett*. 2023;137565. doi:10.1016/j.neulet.2023.137565
4. Mitsutake T, Nakazono H, Shiozaki T, Fujita D, **Sakamoto M**. (2023). Changes in vestibular-related responses to combined noisy galvanic vestibular stimulation and cerebellar transcranial direct current stimulation [published online ahead of print, 2023 Nov 15]. *Exp Brain Res*. 2023;10.1007/s00221-023-06731-5. doi:10.1007/s00221-023-06731-5
5. 武富由美子, 田渕康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也 (2023). がん患者遺族の心的外傷後成長と関連要因に関する縦断的研究. *保健の科学*, 65(11), 785-790.

#### 【学会発表・招待講演】

1. 鶴味詢大, 山口武彦, 松下修三, 山之内純, 中尾綾, 中田浩智, 南留美, 坂本麻衣子. N-back タスクにおける行動・生理特徴量の解析に関する基礎研究～ANI 早期発見への応用～ 第 33 回ライフサポート学会フロンティア講演会, 2024, 3, 6-7.
2. 野口歩夢, 山口武彦, 松下修三, 山之内純, 中田浩智, 南留美, 坂本麻衣子. タブレット型 VR-IADL における micro-error の評価：ANI 早期発見への応用 第 33 回ライフサポート学会フロンティア講演会, 2024, 3, 6-7.
3. **Sakamoto Pomeroy M**, Tsurumi J, Nakao A, Yamanouchi J, Nakata H, Minami R, Matsushita S, Giovannetti T & Yamaguchi T. A Novel Touch-Panel Screening Battery for Detecting HIV-Related Neurocognitive Impairment. Presented at 52<sup>nd</sup> International Neuropsychological Society Annual Meeting, 2024, 2, 14-17.
4. 坂本麻衣子, 武富由美子, 熊谷有記, 田渕康子. 乳がん患者からピア・サポーターへ - 子育て真最中の患者の精神的成長の記録 -. 第 44 回日本死の臨床研究会年次大会 2023, 11, 25-26.
5. 坂本麻衣子. 「高次脳機能障害」の検査と診断 - 日本と海外の比較 -. 第 47 回高次脳機能障害学会 2023, 10, 28-29.

6. 福森 則男, 坂本 麻衣子, 植田 美穂, 木本 晶子, 堀 恵子, 山崎 加奈枝, 山口 真美, 小田 康友. COVID-19 の流行が臨床参加型臨床実習中の医学生の医行為実施に与えた影響. 日本医学教育学会, 2023, 7, 28-29.
7. 山口 真実, 坂本 麻衣子, 光武 翼\*, 福森 則男, 植田 美穂, 木本 晶子, 山崎 加奈枝, 堀 恵子, 小田 康友. 医学科生の学修者間交流の制限が自己主導型学習能力と学修成果との関係に及ぼす影響. 日本医学教育学会, 2023, 7, 28-29.
8. **Sakamoto Pomeroy, M.** History and state of clinical psychology and neuropsychology in Japan. Presented at 46<sup>th</sup> International Neuropsychological Society Global Meeting in Taiwan, 2023, 7, 6-8.
9. **Sakamoto Pomeroy M. & Aoki, Y.** Enhancing Research Writing Skills in English: Navigating the Role of AI Applications in Academic Writing. Presented at the 26th JASMEE Academic Meeting, 2023, 7, 1-2.

#### 【その他発表】

1. 坂本麻衣子. 神経心理学の基礎から応用 ―検査結果を心のケアに役立てるために―. 沖縄県公認心理師協会・医療保険部会特別研修会 2024, 3, 24.
2. 坂本麻衣子. 神経心理学的アセスメントとしての WAIS-IV 活用法 沖縄県医療保険部会 2023, 12, 8.
3. 坂本麻衣子. PLWH・IGBTQ のメンタルヘルスを考える - 根強く残る偏見・スティグマとの戦い- 神奈川 HIV フォーラム 2023, 10, 6.
4. 坂本麻衣子. PLWH・IGBTQ のスティグマを考える Long Term Treatment Success in PLWH 2023, 4, 25.

#### 【共同研究】

1. 諏訪東京理科大学, University of California San Diego, Temple University (アメリカ合衆国), University of Angers (フランス), University of Montreal (カナダ) との共同研究を通じて、テクノロジー (VR やタッチパネル) を用いた認知機能障害早期発見の為にスクリーニングツールを開発している。
2. 福岡国際医療福祉大学と、脳卒中患者の歩行能力に対する電気刺激療法の効果や経頭蓋直流電気刺激時の脳活動の研究を行っている。
3. 九州大学とともに、入所施設の高齢者対象に、化粧品を使った自立的なスキンケア習慣が与える認知機能と情緒への効果について検証を行っている。
4. 癌患者遺族の心的外傷後成長: Post-traumatic Growth (PTG) の関連要因 (在宅ケア vs. 一般病院での看取りなど) について、同学部看護学科の教員と評価を行っている。
5. 配偶者を亡くした高齢者の精神的健康とそれに影響を及ぼす要因について同学部看護学科の教員と評価を行っている。
6. 慶應大学・中央大学等とともに、日本の臨床神経心理学発展のための教育体制、資格制度の向上・改善に取り組んでいる。

#### 資金

##### 【外部】

1. 科学研究費基盤 C (研究代表者) : HIV 関連神経認知障害 (HAND) 診断ツールの標準値構築と動作エラーモデルの開発 520 千円

2. 科学研究費基盤 B（分担研究者） ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的  
研究 65 千円
3. 科学研究費基盤 C（分担研究者）：ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワ  
ークモデルの開発 130千円

## 活動内容

### ◆教育活動

| 授 業 科 目             | 対 象 学 年 |
|---------------------|---------|
| 医療入門Ⅰ（教科主任）         | 医1      |
| 生命倫理学（教科主任）         | 医 1     |
| 行動科学原論（教科主任）        | 医 1     |
| 医療入門Ⅱ               | 医2      |
| 臨床入門                | 医4      |
| 神経心理学概論（研究室配属）      | 医2      |
| 研究倫理学（研究室配属）        | 医2      |
| 生命科学・医療倫理(教科主任)     | 大学院生    |
| 生命倫理学概論(教科主任)       | 大学院生    |
| 看護倫理                | 大学院生    |
| アカデミック・ライティング（教科主任） | 大学院生    |

PBLチューター：PBLユニット12（社会医学・医療社会法制）

チューター：1・2年生担当

特別チューター

USMLE Study Group of Saga (USGOS) 顧問

### ◆診療活動

脳神経内科・物忘れ外来での認知機能検査

脳神経内科緩和ケアのコンサルテーション

HIV/AIDS 患者の HAND 診断

HIV/AIDS 患者のカウンセリング

### ◆組織運営活動

カリキュラム委員会 委員

医学部附属病院臨床倫理委員会 委員

医学部附属病院臨床倫理コンサルテーションチーム チームメンバー

教育委員会 委員

ファカルティ・デベロップメント委員会 委員

分野別評価委員会 幹事

教学マネジメント推進室 室員

— 質保証部門 委員

— ティーチングポートフォリオメンター

国際交流部会 部員

◆その他

国際神経心理学会 (International Neuropsychological Society: INS) Mid-Year 台湾大会 大会長

国際神経心理学会 (International Neuropsychological Society: INS) 理事

アジア神経心理学会 (Asian Neuropsychological Association: ANA) 国際リエゾン委員